

山田みやこの活動報告

令和5年9月13日(水)

認定NPO法人茨城NPOセンター commonsへの調査

理事長 横田能洋氏

茨城NPOセンター・commonsは水戸市を拠点にして、NPO法人の設立の相談や市民団体向け研修、ひきこもりがちな若者の就労訓練としてのコミュニティレストランなどの制度外福祉に取り組んできた。

横田氏が暮らす常総市においては、日系ブラジル人の出稼ぎが多かった。

2008年のリーマンショックにより失業した日系人と、収入減に伴う子どもの教育問題が表面化した。

それがきっかけとなり、横田氏は国の日系人向け日本語研修のコーディネートをを行うことになり、常総市に事務所を開設。

2010年から3年間、茨城県の外国人就労修学サポートセンターを受託（グローバルサポート事業）履歴書の書き方や面接の研修、労働相談、ヘルパー研修を行った。

2015年9月関東東北豪雨で常総市が大きな被害を受けた。その後、被災者支援に取り組み、外国籍住民に情報提供や、水害からの復興のため空き家対策にも力を入れ、人づくり・街づくりの活動が広がった。

現在は、外国人支援、保育園、えんかわカフェ、サポート付きシェアハウス（4棟）の運営を行っている。シェアハウスは空家を改修ものである。

そこで、サポート付きシェアハウスの状況を調査した。

家賃は一室月3万円・共益費月1万円・敷金礼金なし。保証人は必要なし。保育・子育て支援、就学・進学支援・就労支援・相談支援のサポートをする。

サポート付きシェアハウス・母子自立支援やDV被害者視点で視察をしたが、女性専用・家族向け・地域コミュニティの居場所も兼ねたシェアハウス等がある。

ただ、入居者が少ない時の運営は財政的に厳しい。

しかし、シェアハウスがあることは緊急支援時には大変有意義である。

本県においても、このようなシェアハウス運営のできるNPO法人があれば支援の幅が出で来るのではないだろうか。

